

# 長尺あと施工アンカーの塑性域での繰返し加力による損傷状況の確認業務 仕様書

## 1 適用

本仕様書は、「長尺あと施工アンカーの塑性域での繰返し加力による損傷状況の確認業務」に適用する。

## 2 業務概要

本業務は、令和2年度PRISM国-03・05仮設・復興住宅の早期整備による応急対応促進の施策③-1「土地の有効利用に資する木造建築物の高層化技術の開発」にて実施される「あと施工アンカーの要求性能の検討」において、長尺あと施工アンカーの塑性域での繰返し加力による損傷状況の確認業務に係わる業務である。詳細は以下に示す。

## 3 試験体の概要（表1）

試験体は、打込み側面にD13鉄筋が上方向300mmピッチ、横方向200mmピッチで配筋されている。なお、本業務で用いるコンクリート試験体は、一般社団法人建材試験センター西日本試験所（山口県山陽小野田市大字山川764-2）で保管されている。

表1 試験体一覧

試験体	寸法 (mm)	試験体数	備考
既存コンクリート	900×900×1500	2	あと施工アンカー試験用
	φ100×200	6	強度試験用

## 4 業務内容

### 4.1 作業内容の確認

作業着手に先立ち、受注者は担当者と次の打合せを行い、作業内容の確認を行う。

- ・実験内容、実験方法、試験体数、あと施工アンカーの施工方法、各測定結果の取りまとめ方法、日程

### 4.2 試験に用いるあと施工アンカー（表2）

試験に用いるアンカー筋はD25異形棒鋼（ねじ節・SD345）、M24全ねじボルト（SNR490B）の2種類、接着剤は有機系、無機系の2種類とする。なお、異形棒鋼の節間隔および無機系接着剤の付着強度については3～4水準を設定することとし、協議により決定することとする。

表2 試験に用いるアンカー

試験体	寸法 (mm)	試験体数	アンカー筋	接着剤	穿孔径 (mm)	埋込み長さ (mm)	備考
既存コンクリート	900×900×1500	2	D25, M24	有機系, 無機系	協議	径×40	D25の節間隔、無機系接着剤の付着強度は協議による

### 4.3 試験方法

本業務では穿孔にコアドリルを用いることとし、アンカー筋の施工は上面から下面に向かって行うようにコンクリート試験体の向きを変えることとし、アンカー筋には5箇所（コンクリート表面から+20, -250, -500, -750, -875mm位置両面）にひずみゲージを施工したものをを用いる。あと施工アンカーの施工箇所は協議により決

定する。

載荷に関しては、 $2\sigma_y$ 、 $4\sigma_y$ 、 $6\sigma_y$ 、 $8\sigma_y$ 、 $10\sigma_y$ を各2回行い、アンカー筋引張強度の90%に達した時点で載荷を終了する。なお、載荷の際にはアンカー筋の拔出し量も測定することとし、その測定はコンクリート表面に近い位置で行う。

## 5 作業に必要な資材等

作業に必要な資材等は、全て受注者で用意する。

## 6 作業実施場所

作業の実施は、受注者で決定する。なお、既存コンクリート試験体は一般社団法人建材試験センター西日本試験所（山口県山陽小野田市大字山川764-2）に保管されている。

## 7 報告書

各試験結果（写真等を含む）をまとめ報告書を作成する。

報告書の書式及び記載内容は、担当者と協議のうえ決定するものとする。

## 8 本仕様書に関する疑義

本仕様書に記載されている事項について疑義が生じた場合は、速やかに担当者と協議するものとする。

## 9 成果物

- |                         |     |
|-------------------------|-----|
| ・ 報告書                   | 1 部 |
| ・ 上記の電子データを収納した DVD-R 等 | 1 枚 |

## 10 納入場所

- ・ 茨城県つくば市立原1 国立研究開発法人 建築研究所 材料研究グループ

## 11 履行期限

- ・ 契約締結の翌日から令和3年3月19日（金）まで

## 12 検査

本仕様書に基づく成果については、担当者の検査に合格しなければならない。

## 13 その他

本業務には、一般社団法人日本建築あと施工アンカー協会認定の「あと施工アンカー技術管理士」1名以上が従事するものとする。

## 14 担当者

材料研究グループ 主任研究員 松沢晃一